

Sen'i Gakkaishi
(Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

繊維学会誌



2016 Vol.72 8

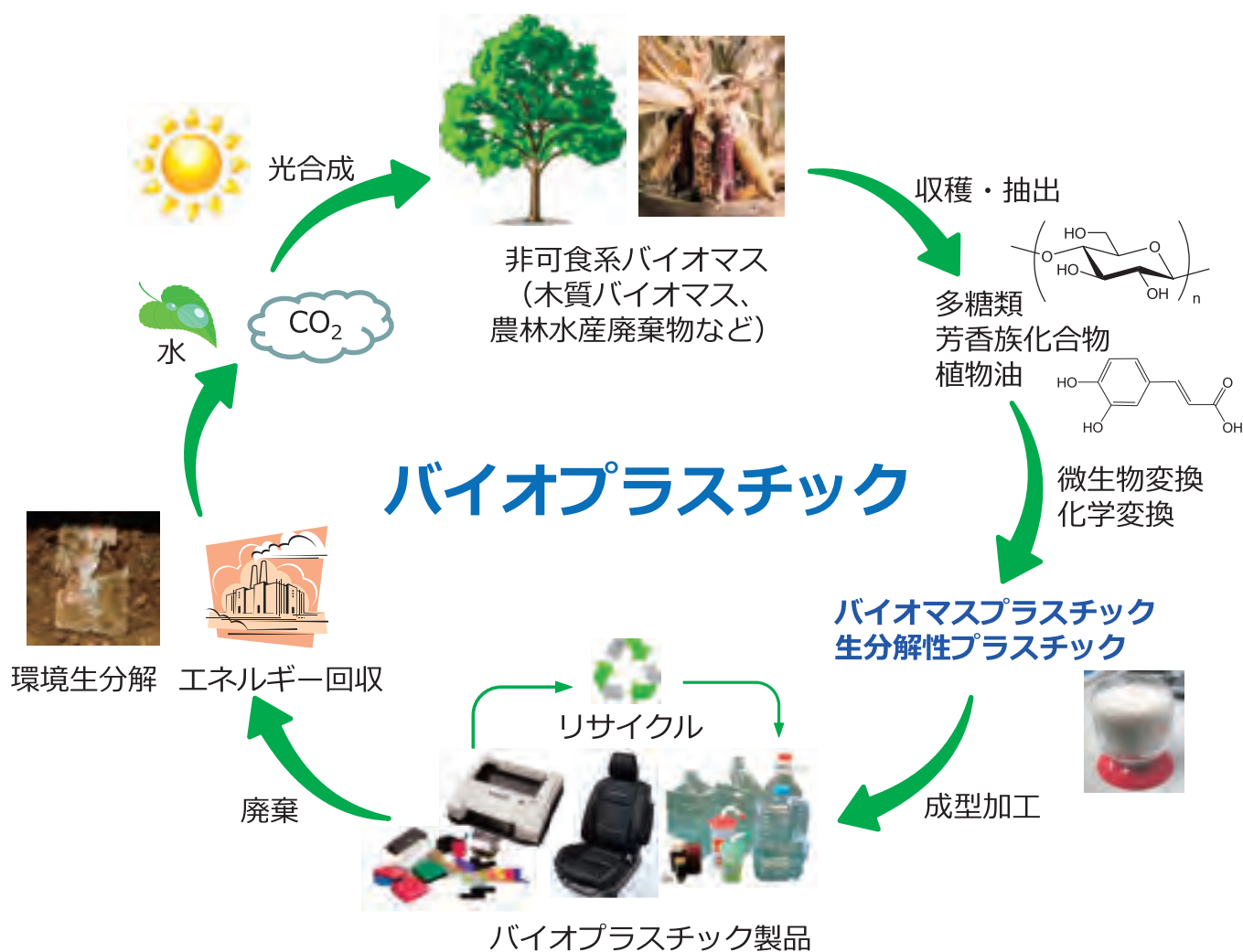
一般社団法人 繊維学会



農学が牽引する新しい

バイオプラスチック

への挑戦 *Challenge for New Bioplastics*



プラスチックは石油からつくられるというこれまでの常識を覆し、木材成分や植物油などのバイオマスからつくることに挑戦すると共に、高強度化、高耐熱性化、環境分解性および生体吸収性付与などの実用化に向けた取り組みを展開しています。

連絡先: 岩田忠久 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
東京大学 大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 高分子材料学研究室
URL: <http://www.fp.a.u-tokyo.ac.jp/lab/polymer/>

京都工芸繊維大学

繊維学系/先端ファイブ科学専攻

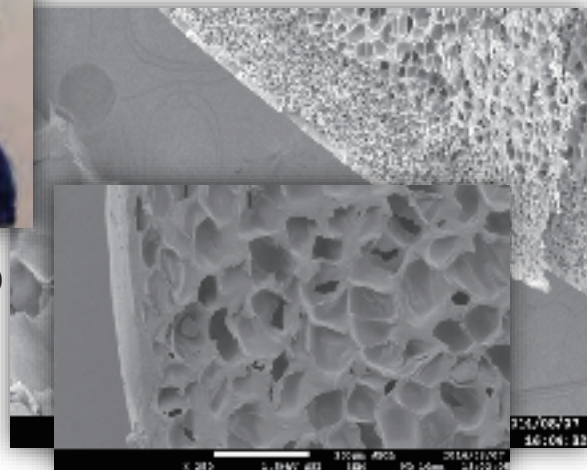


奥林研究室

- 超臨界二酸化炭素を用いた繊維・高分子材料の染色/仕上・洗浄・発泡
- 電子線照射による繊維・高分子材料の改質
- イオンビームによる有機無機ハイブリッド材料の創製



超臨界二酸化炭素染色(PP繊維)



超臨界二酸化炭素発泡(PMMA)



詳しくはウェブで

<http://www.cis.kit.ac.jp/~okubay/index.html>

**MATERIALS
CAN CHANGE
OUR LIVES.**

素材には、社会を変える力がある。

繊維

プラスチック・
ケミカル

情報通信材料・
機器

炭素繊維複合材料

環境・
エンジニアリング

ライフサイエンス

● 編集：独立行政法人 日本学術振興会
繊維・高分子機能加工第120委員会

● A5判 180ページ

● 販売 3,440円

(本体3,000円+税240円+送料200円)

● 発行：株式会社 繊維社 企画出版
<https://www.sen-i.co.jp>

合成繊維染色加工技術の必携書！！

本書の内容

【巻頭言】

「繊維染色加工に関わる技術の伝承と進展
— 合成繊維に関する技術 —」の発刊に際して

独立行政法人 日本学術振興会 繊維・高分子機能加工第120委員会
前委員長 幾田 信生
(湘南工科大学理事・附属高等学校校長)

第1章 合成繊維の染色加工の原理

……福井大学 産学官連携本部 客員教授 堀 照夫

1. はじめに
2. 染色理論
 - 2-1 染料の拡散
 - 2-2 吸着等温線
3. 機能加工の原理
 - 3-1 吸尽法
 - 3-2 コーティング・ラミネーティング
 - 3-3 共有結合法
 - 3-4 光・レーザー利用法
 - 3-5 マイクロカプセル化法
 - 3-6 ソルゲル法
 - 3-7 超臨界流体利用技術
 - 3-8 電子線照射技術を用いる繊維加工
 - 3-8-1 はじめに
 - 3-8-2 電子線照射技術の繊維加工への応用
 - 3-8-3 電子線グラフト重合の原理
 - 3-8-4 加工の実例
 - 3-8-5 おわりに

第2章 ポリエステル長繊維織物の準備工程

……株式会社 繊維社 新商品開発部長 水囊 満

1. 生機の付着物
2. ポリエステル長繊維織物の一般的加工工程
3. 精練とリラックス
 - 3-1 生フィラメント薄地織物
 - 3-2 異収縮混織糸織物
 - 3-3 加工糸織物
 - 3-3-1 ポイルオフ
 - 3-3-2 リラックス処理機
 - 3-3-3 精練
 - 3-4 強撚織物
4. ポリエステルの減量加工
 - 4-1 減量率
 - 4-2 実際の減量加工
 - 4-3 液流方式バッチ減量
 - 4-4 パッドスチーム式連続減量
 - 4-5 減量加工における留意点
5. 乾燥とプレセット
 - 5-1 乾燥
 - 5-2 プレセット

第3章 ポリエステル長繊維織物の染色

……株式会社 繊維社 新商品開発部長 水囊 満

1. まえがき
2. 染料

- 2-1 ポリエステル用分散染料
- 2-2 分散染料の種類と選択
3. 染色機の選定
4. 液流染色機による染色
5. ジグガーによる染色
6. ビーム染色機による染色
7. ラビッド染色
8. 後処理工程
9. カチオン染料可染型ポリエステル染色
10. 極細ポリエステル繊維の染色

第4章 アセテートの染色加工

……株式会社 繊維社 新商品開発部長 水囊 満

1. アセテート繊維
2. アセテート織物の精練
3. ジアセテートの染色加工
 - 3-1 分散染料と染色温度
 - 3-2 ジグガー染色
4. トリアセテートの染色加工

第5章 ポリエステル繊維の機能加工

……株式会社 サカイオーベックス 馬場 俊之

1. はじめに
2. 機能加工の実際
 - (1) 透湿防水加工
 - (2) 撥水加工
 - (3) 吸水(吸汗)加工
 - (4) 紫外線カット加工
 - (5) 保温加工
 - (6) 涼感加工
 - (7) スキンケア加工
 - (8) 抗菌防臭加工、制菌加工
 - (9) 消臭加工
 - (10) 防かび加工
 - (11) 防汚加工
 - (12) 難燃加工
 - (13) アルレルゲン抑制加工

第6章 合成繊維と染色加工機械の歴史背景

……株式会社 繊維社 新商品開発部長 水囊 満

1. 発展の概要
 - 1-1 黎明期(1950~1965年)
 - 1-2 普及期(1965~1975年)
 - 1-2-1 加工糸織物の登場(糸染めと反染め)
 - 1-2-2 混紡織物の出現(糸染めと反染め)
 - 1-2-3 婦人服用薄地織物の減量加工、解燃加工
 - 1-2-4 自動車内装材への進出(素材：織編組織の多様化)
 - 1-2-5 新合繊、多品種、小ロット、多様化、高付加価値化の追求
 - 1-2-6 代表的な染色加工製品の加工工程と使用される加工機械
2. 糸(ステープル・トウ)の染色加工機械
 - 2-1 チーズ染色機
 - 2-2 チーズ乾燥機

- 2-3 総染め機
- 2-4 トップ、縹、ルーズ(ワタ等)、トウ、ワープビームの染色

3. 浸染用の染色加工機械

- 3-1 液流染色機、気流染色機
 - 3-1-1 液流染色機の開発の背景と歴史
 - 3-1-2 常圧型液流染色機
 - 3-1-3 気流染色機
- 3-2 ビーム染色機
- 3-3 拡布連続染色機
 - 3-3-1 パッドスチーム染色機
 - 3-3-2 サーモゾール染色機
 - 3-3-3 パッドロール染色機・パッドパッチ染色機
- 3-4 ジグガー、ウインス
 - 3-4-1 ジグガー
 - 3-4-2 ウインス

4. 捺染用の染色加工機械

- 4-1 フラットスクリーン捺染機
- 4-2 ロータリースクリーン捺染機

第7章 仕上加工用機械

……株式会社 繊維社 専務取締役 石丸 治

1. 樹脂加工機
2. カレンダー
3. ラミネート・ボンディング機

第8章 各工程共通機械

……株式会社 繊維社 専務取締役 石丸 治

1. 付与装置
2. スチーマー(エイジャー)
3. 水洗機
4. 乾燥機
 - 4-1 シリンダー乾燥機
 - 4-2 ローラードライヤー
 - 4-3 ループドライヤー
 - 4-4 ノンタッチドライヤー
 - 4-5 フローティングドライヤー
 - 4-6 シュリンクドライヤー
 - 4-7 サクションドラム乾燥機
 - 4-8 タンブラー乾燥機
 - 4-9 赤外線乾燥機
5. リラクサー
6. ヒートセッター、SST
 - 6-1 ヒートセッター
 - 6-2 SST(ショート・ショート・テンター)
7. 布目矯正機
8. 拡布装置
9. 減量加工機
10. ワッシャー
11. FMS化
12. まとめ

索引

●お申し込みは — 電話 / HP / E-mail で

株式会社 繊維社 企画出版

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町1-9-29(東本町ビル5F)
Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899
E-mail: info@sen-i.co.jp <https://www.sen-i.co.jp>

ホームページリニューアル

繊維技術データベース開始しました！！

入門・教育用に、新商品・新技術開発にご活用ください。





織 維 学 会 誌

平成 28 年 8 月 第 72 卷 第 8 号 通巻 第 845 号

目 次

時 評	魅力ある学会へー今思うことー	木村 邦生 P-377
------------	----------------	-------------

解 説	日本神話のルーツ：ホツマツタエ(その1) 天之御中主から伊弉諾尊まで	梶 慶輔 P-378
	衣服におけるユニバーサルデザイン	佃 由紀子 P-383
	ポリビニルアルコールの微結晶を自己核剤とした 結晶化度の向上と力学物性	中沖 隆彦 P-387
	3D プリンタを利用した新たな物性解析手法の開発について	松葉 豪 P-393
	水環境の保全に貢献する多孔質膜 二宮 康裕・福場 芳則・細川 宏	P-398

繊維学会創立70周年記念連載	〈技術が支えた日本の繊維産業ー生産・販売・商品開発の歩みー35〉	
	繊維産地の盛衰(5)	松下 義弘 P-402

レポート	平成 28 年度年次大会開催報告	平成 28 年度年次大会実行委員会 P-413
-------------	------------------	-------------------------

海外ニュースレター		P-419
------------------	--	-------



Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 72, No. 8 (August 2016)

Contents

Foreword

What is the Attractive Academic Society? KUNIO KIMURA P-377

Reviews

Origin of Japanese Mythology : Based on 'Hotsuma Tsutae', a Tradition Handed
Down by Hotris or Āig-Veda Priests KEISUKE KAJI P-378

Universal Design in Clothing YUKIKO TSUKUDA P-383

Physical Properties of Polyvinyl Alcohol Prepared from Freeze-Thaw Cycled Gel
TAKAHIKO NAKAOKI P-387

Development of New Analysis Techniques with a 3D Printer GO MATSUBA P-393

Porous Membrane for Water Environment Technology
YASUHIRO NINOMIYA, YOSHINORI FUKUBA, and HIROSHI HOSOKAWA P-398

Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

—History of the Production, Sales, and Product Development—35

Rise and Fall of Textile-Producing Regions (5) YOSHIHIRO MATSUSHITA P-402

Report

Annual Meeting and Symposium 2016 THE EXECUTIVE COMMITTEE P-413

Foreign News Letter

P-419

会告 2016

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 72, No. 8 (August 2016)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
28. 9. 20(火) 21(水)	平成28年度繊維学会秋季研究発表会(米沢市・山形大学 米沢キャンパス)	A3~4
10. 12(水)	第55回機能紙研究発表・講演会・交流会並びに見学会(岐阜市・じゅうろくプラザ)	A6
10. 21(金)	第184回被服科学研究委員会(東京都・大妻女子大学)	A6
10. 26(水) 27(木)	成形加工シンポジウム'16(仙台・宮城)第24回プラスチック成形加工学会秋季大会「モノづくり人づくり、成形加工の伊達な未来」(仙台市・仙台国際センター)	A6
11. 5(土) 6(日)	第47回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(豊橋市・豊橋技術科学大学)	A7
11. 10(木) 11(金)	第48回洗浄に関するシンポジウム(東京都・タワーホール船堀)	A7
11. 10(木) 11(金)	第57回秋季ゴム技術講習会「実務に活かすゴム材料の管理、設計手法」(東京都・東京電業会館 地下ホール)	A7
11. 15(火)	第229回ゴム技術シンポジウム「ゴム・エラストマー材料の劣化評価」～各種分析機器による劣化解析事例～(東京都・東京電業会館)	A7
11. 25(金)	繊維学会「繊維の応用講座」Beauty & Wellness 美容と健康のガイダンス(東京都・東京工業大学)	A6
11. 28(月) ～30(水)	第37回日本熱物性シンポジウム(岡山市・岡山国際交流センター)	A7
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年6月号
	繊維学会定款(平成24年4月1日改訂)	平成24年3月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年1月1日改訂)	平成26年1月号
	訂正・変更届用紙	平成26年3月号

「繊維学会誌」編集委員

編集委員長	土田 亮(岐阜大学)						
編集副委員長	鬘谷 要(和洋女子大院)	出口 潤子(旭化成せんい株)					
編集委員	植野 彰文(KBサーレン株)	大島 直久(東海染工株)	金 翼水(信州大学)	小寺 芳伸(三菱レイヨン株)			
	澤田 和也(大阪成蹊短期大学)	高崎 緑(京都工芸繊維大院)	田村 篤男(帝人株)	寺本 喜彦(東洋紡株)			
	西田 幸次(京都大学化学研究所)	西村 高明(王子ホールディングス株)	増田 正人(東レ株)	村上 泰(信州大学)			
	吉田 耕二(ユニチカトレーディング株)						
顧問	浦川 宏(京都工芸繊維大院)						

平成28年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成 28 年度 秋季研究発表会	平成28年 9 月20日(火)、21日(水)	山形大学工学部(米沢市)
繊維の応用講座	平成28年11月25日(金)	東京工業大学(大田区大岡山) 西9号館コラボレーション ルーム http://www.dst.titech.ac.jp/outline/facility/hall.html

一般社団法人 繊維学会平成 28 年度通常総会(議事録)

1. 日 時 平成 28 年 6 月 8 日(水) 13:40~14:15
2. 場 所 タワーホール船堀(東京都江戸川区船堀)5階小ホール
3. 総会の出席者数(75)名、委任状提出者数(674)名、総正会員数(1,309)名
定款第 20 条に定める定足数を満たしている。
4. 議 事
 - 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告承認の件
異議なく承認された。
 - 第 2 号議案 平成 27 年度決算報告承認の件
異議なく承認された。
 - 第 3 号議案 平成 28・29 年度理事選任の件(30 名)
原案通り、異議なく承認された。
 - 第 4 号議案 平成 28・29 年度監事選任の件(3 名)
原案通り、異議なく承認された。
 - 第 5 号議案 名誉会員推挙の件
梶原莞爾氏が名誉会員に推挙され、承認された。
 - 報告事項 平成 27 年度公益目的支出計画実施報告書の概要説明があった。
繊維学会誌のリニューアルに関する報告があった。

繊維学会 第 668 回(臨時)理事会議事録(抜粋)

- I. 日 時 平成 28 年 6 月 8 日(水) 14:20~14:40
- II. 場 所 タワーホール船堀 402 号室
- III. 理事総数 30 名の内、出席者 21 名、定款 36 条による定足数を満たしているため、本理事会の決議は有効に成立した。
- IV. 議 事
 1. 会長、副会長の選任
平成 28 年 1 月 23 日に開催された役員選考委員会で選出された次期会長候補者案及び副会長推薦案が提案され、異議なく、満場一致で承認された。
会 長：鞠谷雄士氏
副会長：木村邦生氏、荻野賢司氏、青山雅俊氏
 2. その他
出席している理事並びに監事夫々の紹介が行われた。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、公益法人日本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

(一社)学術著作権協会

TEL: 03-3475-5618、FAX: 03-3475-5619

E-mail: info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

平成 28 年度繊維学会秋季研究発表会 研究発表会・ポスター発表参加募集および参加要領

1. 主 催：繊維学会

2. 日 時：平成 28 年 9 月 20 日(火)~21 日(水) 2 日間
(ポスター発表は第 53 回染色化学討論会と合同)

3. 場 所：山形大学 米沢キャンパス
(〒992-8510 山形県米沢市城南 4-3-16)
JR 米沢駅より市民バスで 20 分、タクシーで 15 分。車での
来場はご遠慮ください(交通案内の詳細は以下のページをご
覧ください)。
<http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/access/>



4. 特別講演

「ものづくり」そして「ことづくり」

オリエンタルカーペット(株) 渡辺博明

「構造タンパク質による素材革命」

Spiber(株) 菅原潤一

5. 研究発表会

下記のセッションを予定しています。

1. 繊維・高分子材料の創製
2. 繊維・高分子材料の機能(オプティクス・フォトンクス、接着・界面/表面機能)
3. 繊維・高分子材料の物理・ソフトマテリアルの物理
4. 成形・加工・紡糸 (ナノファイバー、繊維・フィルム、複合材料・多孔体)
5. 天然繊維・生体高分子(紙・パルプ、天然材料・ナノファイバー、バイオポリマー、生分解性材料)
6. バイオ・メディカルマテリアル
7. テキスタイルサイエンス

6. 第 53 回染色化学討論会

主 催：繊維学会 染色研究委員会

日時、会場、懇親会は秋季研究発表会と同一です。ポスター発表は染色化学討論会と秋季研究発表会の合同で行います。染色化学討論会に参加ご希望の方は、繊維学会秋季研究発表会にご登録ください。染色化学討論会のみのお参加ご希望の方には染色化学討論会要旨集代が含まれます。繊維学会秋季研究発表会予稿集と染色化学討論会要旨集の両方をご希望の方は、追加予稿集代として 2,000 円をお支払いください。詳細は染色化学討論会のホームページをご覧ください。

7. 参加登録申し込み方法並びに申し込み締切

- ・参加登録申し込みは、学会ホームページの[参加申込フォーム](#)からお願いします。
- ・事前参加登録申し込み締切：平成 28 年 8 月 26 日(金)

8. 懇親会

9 月 20 日(火)夕方「上杉城史苑」(<http://www.uesugijoshien.jp/>)にて開催します。
詳細は秋季研究発表会のホームページをご覧ください。

9. 参加登録費・懇親会費

参加登録費：

	繊維学会 正会員 維持・賛助会員 協賛学・協会員	非会員	繊維学会 学生会員	学生非会員
事前登録	8,000 円	15,000 円	3,000 円	6,000 円
参加登録	10,000 円	18,000 円	5,000 円	8,000 円

懇親会費：

	繊維学会 正会員 維持・賛助会員 協賛学・協会員	非会員	繊維学会 学生会員	学生非会員
事前登録	7,000 円	7,000 円	7,000 円	7,000 円
参加登録	8,000 円	8,000 円	8,000 円	8,000 円

- 注) 1. 参加登録費には、学会予稿集 1 冊が含まれます。
 2. 予稿集の事前送付はいたしませんので御了承ください。
 3. 懇親会のみに参加される方は、懇親会費のみを御送金ください。

参加登録費、懇親会費の振込先

- 送金方法： 1. 現金書留：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208
 一般社団法人 繊維学会 平成 28 年度繊維学会秋季研究発表会係
 2. 銀行振込：三菱東京 UFJ 銀行 目黒駅前支店 普通口座 4287837
 (加入者名)一般社団法人 繊維学会
 3. 郵便振替：口座番号 00160-9-756624
 (加入者名)一般社団法人 繊維学会秋季研究発表会

10. 問い合わせ先

本研究発表会に関してご不明な点がございましたら次のアドレス(autumn2016@fiber.or.jp)までメールでお問い合わせください。

平成 28 年度繊維学会秋季研究発表会実行委員会

実行委員長：伊藤浩志(山形大)

実行副委員長：西岡昭博(山形大学)、松葉 豪(山形大学)

実行委員：岡田修司(山形大学)、東原知哉(山形大学)、香田智則(山形大学)、杉本昌隆(山形大学)、前山勝也(山形大学)、宮田 剣(山形大学)、西辻祥太郎(山形大学)、福島和樹(山形大学)、浦木康光(北海道大学)、澤田英夫(弘前大学)、大石好行(岩手大学)、寺境光俊(秋田大学)、及川英俊(東北大学)、正田晋一郎(東北大学)、佐藤貴哉(鶴岡工業高等専門学校)、根本修克(日本大学)、井上真理(神戸大学)、松本英俊(東京工業大学)、宝田 亘(東京工業大学)、安永秀計(京都工芸繊維大学)、平田充弘(山形県工業技術センター)菅原潤一(Spiber)、神山統光(帝人)、坂 渉(花王)、青山雅俊(東レ)、村瀬浩貴(共立女子大)、山本 洋(三菱レイヨン)、田中次郎(クラレ)

平成 28 年度繊維学会各賞授賞候補者募集

当学会では、功績賞、学会賞、技術賞、論文賞、奨励賞、紙・パルプ論文賞を設け、一般会員より広く推薦(応募)を求めています。平成 28 年度も例年通り、各賞の表彰を行いたく受賞候補者の推薦または応募を頂きますようお願い申し上げます。なお、論文賞は、一般公募をせず、論文賞選考委員によりその年の繊維学会論文誌(JFST)に掲載されました論文から選考されます。

推薦(応募)書類は、下記の所属支部長または学会事務局へ期限までに提出をお願いします。

- ・推薦(応募)書類はホームページ <http://www.fiber.or.jp/>の学会賞に掲示してありますので、ダウンロードしてご利用ください。
- ・会員(維持会員、賛助会員を含む)は受賞候補者の資格を有し、自薦・他薦を問わない。
- ・推薦(応募)書類の提出期限は平成 28 年 12 月 25 日(日)迄です。
- ・歴代受賞者はホームページ <http://www.fiber.or.jp/>に掲載しています。

1. 繊維学会功績賞

- ① 対象：原則として、受賞年(平成 29 年)の 4 月 1 日において満 60 歳以上の本会会員で、多年にわたり繊維学会の発展に顕著な業績をあげた者、または繊維科学あるいは繊維工業の発展に優れた業績をあげた者。
- ② 表彰の件数：原則、5 件以内。
- ③ 表彰状および賞牌の授与。

2. 繊維学会賞

- ① 対象：原則として、受賞年(平成 29 年)の 4 月 1 日において満 51 歳未満の本会会員で、繊維科学について独創的で優秀な研究を行い、さらに研究の発展が期待される研究者。
- ② 表彰の件数：原則、2 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

3. 技術賞

- ① 対象：本会会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維に関する技術について、優秀な研究、発明または開発を行い、繊維工業の発展に貢献した個人またはグループ。
- ② 表彰の件数：原則として、技術部門 3 件以内、市場部門 1 件以内。
- ③ 表彰状および賞牌の授与。

4. 論文賞

- ① 対象：本会会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維科学および繊維技術に関し、その年(平成 28 年 1 月号～12 月号)の本会論文誌(JFST)に論文を発表した研究者。
- ② 表彰の件数：3 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

5. 奨励賞

- ① 対象：原則として、受賞年(平成 29 年)の 4 月 1 日において満 36 歳未満の本会会員で、繊維科学もしくは繊維技術について優秀な研究を行い、今後も継続して期待ができる新進気鋭の研究者。
- ② 表彰の件数：原則として、3 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

6. 紙・パルプ論文賞(事前に事務局へお問い合わせください)

- ① 対象：原則として、受賞年(平成 29 年)の 4 月 1 日において満 40 歳未満の本会会員で、過去 5 年間に本会論文誌(JFST)に論文 2 編以上を発表した新進気鋭の研究者。
- ② 推薦(応募)書類は、学会事務局へ期限までに提出をお願いします。
- ③ 表彰の件数：原則として、1 件以内。
- ④ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

問合せ先

本部 一般社団法人 繊維学会事務局
〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208
TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail: office@fiber.or.jp

支部名	支部長名	所在地	TEL & E-mail
東北・北海道支部	伊藤 浩志	〒992-8510 山形県米沢市城南 4-3-16 山形大学大学院 有機材料システム研究科	0236-26-3081 ihiroshi@yz.yamagata-u.ac.jp
関東支部	岩田 忠久	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院 農学生命科学研究科	03-5841-5266 atiwata@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
東海支部	仲井 朝美	〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学 工学部 機械工学科	058-293-2400 nakai@gifu-u.ac.jp
北陸支部	末 信一朗	〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 福井大学大学院 工学研究科	0776-27-8914 suyeb10@u-fukui.ac.jp
関西支部	浦川 宏	〒606-8585 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 京都工芸繊維大学 繊維学系	075-724-7567 urakawa@kit.jp
西部支部	田中 敬二	〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 九州大学大学院 工学研究院 応用化学部門	092-802-2878 k-tanaka@cstf.kyushu-u.ac.jp

繊維学会「繊維の応用講座」 Beauty & Wellness 美容と健康のガイダンス

日 時：平成 28 年 11 月 25 日(金) 9:30~17:30

場 所：東京工業大学

西 9 号館コラボレーションルーム

<http://www.dst.titech.ac.jp/outline/facility/hall.html>

プログラム：

- 1) 体・脳・心の健康と衣食住 ～新規機能性研究者から見える未来～ 早稲田大学 矢澤一良
- 2) 皮膚科学(皮膚の構造、機能、簡易計測、肌質分類)～化粧品メーカーが発信する伝わる美容情報～(仮) 花王(株) 今井健雄
- 3) 美しくなるための機能性素材～繊維を出発原料とする化粧品の機能性素材について～ (株)コーサー 荻野 亮
- 4) 美容繊維とシルクの可能性 信州大学 玉田 靖
- 5) 美術解剖学から見た身体美～健康で美しいからだとは～ 東京芸術大学 宮永美知代
- 6) ライザップ式身体美のつくり方～運動から食事、下着衣料まで～(仮) RAIZAP(株) 菅野翔太

講演会終了後に、講師を交えた簡単な交流会を予定しています。

* 詳細な内容が決まりましたら、学会ホームページ及び学会誌に会告文を掲載します。

第 184 回被服科学研究委員会

主 催：被服科学研究委員会

日 時：平成 28 年 10 月 21 日(金) 16:20~17:50

場 所：大妻女子大学 千代田校舎 F 棟 6 階

644 教室(東京都千代田区三番町 12)

講 演：「炭素繊維-炭素繊維を超える材料を開発できるのか-」

早稲田大学理工学術院

基幹理工学部機械科学・航空学科 川田宏之

参加費：無料

交流会：委員会終了後、参加者の交流会を予定しています。(会費：4,000 円予定)

申込 & 連絡先：大妻女子大学 平井郁子

TEL&FAX: 03-5276-6022

E-mail: i-hirai@otsuma.ac.jp

成形加工シンポジウム'16(仙台・宮城) 第 24 回プラスチック成形加工学会 秋季大会

「モノづくり人づくり、成形加工の伊達な未来」

主 催：(一社)プラスチック成形加工学会

日 時：平成 28 年 10 月 26 日(水)、27 日(木)

場 所：仙台国際センター

(仙台市青葉区青葉山無番地)

プログラム：

特別講演 1 件、特別セッション I~V、

ポスターセッション、一般セッション(12 分野)

講演申込 & 秋季大会に関する問い合わせ先：

第 24 回プラスチック成形加工学会秋季大会

(成形加工シンポジウム'16)

実行委員会 E-mail: sympo2016@jspp.or.jp

第 55 回機能紙研究発表・講演会・ 交流会並びに見学会

主 催：特定非営利活動法人機能紙研究会

日 時：平成 28 年 10 月 12 日(水)

場 所：岐阜県、じゅうろくプラザ(岐阜市)

プログラム：研究発表、講演会、ポスター研究発表、
新製品展示会、交流会、見学会

紙から作製するシート状炭素を用いた電池電極材
料の開発

岐阜県専門技術センター 関 範雄

ザイクセン並びに水系エマルジョンの機能紙への

展開及びその応用 住友精化(株) 安井慶宜

リコー新規事業創出を目指した技術経営戦略

リコー(株) 坂上好功

セルロースナノファイバーによる新産業創生

東京大学 磯貝 明

セルロースナノファイバーの製造技術と応用展開

王子ホールディングス(株) 梶田圭一

Pickering emulsion を用いた水系でのナノセル

ロース/疎水性高分子複合化技術

森林総合研究所 藤澤秀次

機能性段ボールの開発と用途展開

レンゴー(株) 所 のぞみ

不連続炭素繊維の活用-中小企業のものづくりに

CFRP を活用するために 岐阜大学 三宅卓志

印刷と紙を活用したエレクトロニクスとセンサー

開発

筑波大学 江前敏晴

問合せ先：特定非営利活動法人機能紙研究会

事務局(森川・紀伊)

TEL: 0896-58-2055

E-mail: kinoushi@e-kami.or.jp

第 47 回中部化学関係学協会 支部連合秋季大会

主 催：中部関係学協会支部連合協議会
共 催：繊維学会東海支部
日 時：平成 28 年 11 月 5 日(土)、6 日(日)
場 所：豊橋技術科学大学(豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1)
プログラム：

総合講演

日本化学会会長、中部大学
分子性触媒研究センター長 山本 尚
豊橋技術科学大学学長、

日本学術会議会長 大西 隆
一般研究発表の講演分野 高分子化学(繊維、ゴム、
接着を含む)他

詳細は大会ホームページ <http://www.c-goudou.org/chukaren47> をご覧ください。

問合せ先：豊橋技術科学大学 環境・生命工学系
松本明彦
E-mail: chukaren47@ens.tut.ac.jp

第 48 回洗淨に関するシンポジウム

主 催：日本油化学会 洗淨・洗剤部会
日 時：平成 28 年 11 月 10 日(木)、11 日(金)
場 所：タワーホール船堀 5 階 小ホール
(東京都江戸川区船堀 4-1-1)
プログラム：特集「衣料の快適と清潔」、一般講演お
よびオリジナルレポート
問合せ先：ライオン(株)機能科学研究所 兵藤 亮
(東京都江戸川区平井 7-2-1)
FAX: 03-3616-5376
E-mail: senjou-senzai@senjou-senzai.sakura.ne.jp

第 37 回日本熱物性シンポジウム

主 催：日本熱物性学会
日 時：平成 28 年 11 月 28 日(月)~30 日(水)
場 所：岡山国際交流センター
(岡山市北区奉還町 2-2-1)

プログラム：

詳細についてはホームページ <http://jstp2016.ss.oka-pu.ac.jp/> をご参照ください。

問合せ先：日本熱物性学会事務局
東北大学流体科学研究所 分子熱流研究分
野内(仙台市青葉区片平 2-1-1)
TEL&FAX: 022-217-5277
E-mail: jstp@micoheat.ifs.tohoku.ac.jp

第 57 回秋季ゴム技術講習会 「実務に活かすゴム材料の管理、設計手法」

主 催：(一社)日本ゴム協会関東支部
日 時：平成 28 年 11 月 10 日(木)、11 日(金)
場 所：東京電業会館 地下ホール
(東京都港区元赤坂 1-7-8)

プログラム：
詳細はホームページ <http://www.srij.or.jp/> を参
照ください。

問合せ先：(一社)日本ゴム協会関東支部 秋季ゴム技
術講習会係
TEL: 03-3401-2957
E-mail: srij.kanto@srij.or.jp

第 229 回 ゴム技術シンポジウム 「ゴム・エラストマー材料の劣化評価」 ~各種分析機器による劣化解析事例~

主 催：(一社)日本ゴム協会 研究部会
分析研究分科会
日 時：平成 28 年 11 月 15 日(火) 10:00~16:40
場 所：東京電業会館
地下ホール(東京都港区元赤坂 1-7-8)
プログラム：詳細はホームページ <http://www.srij.or.jp/> を参照ください。
問合せ先：(一社)日本ゴム協会(担当：小松)
E-mail: komatsu@srij.or.jp
東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル 1 階
TEL: 03-3401-2957

入会のご案内

皆様のお知り合いで当学会に入会を希望される方はいらっしゃいませんか。

ご入会の申し込みについて

1. ホームページから「入会のご案内(申込み用紙)」をダウンロードしてご記入の上、当学会事務局宛へお送りください。

送り先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

一般社団法人 繊維学会 TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260

ホームページ：<http://www.fiber.or.jp/> E-mail: office@fiber.or.jp

2. 会員の種類

個人正会員 繊維に関連ある学理とその応用に関して相当の学識または経験を有するもので本会の趣旨に賛同される方

学生会員 大学(大学院、短期大学含む)、高等専門学校などの学生で、繊維および関連の学科・技術に興味をもつ学生とする。

維持会員 繊維に関連ある団体、又は個人で、この法人の目的を賛助し、この法人の維持に協力をするものとする。

賛助会員 繊維に関連ある団体、又は個人で、この法人の目的を賛助するものとする。

3. 会員の特典

ご入会いただきますと次のような特典があります。

- ・「繊維学会誌」(月刊の機関誌)を毎号お届けします。
(学生会員には原則として電子媒体にて送付し、希望者のみに冊子配付をしています)
- ・繊維学会の本部主催の行事、年次大会/夏季セミナー/秋季研究発表会/繊維基礎講座/繊維の応用講座/最新の繊維技術レビュー講演会に割引料金にてご参加いただけます。
- ・維持会員と賛助会員には毎月、海外ニューズレター(海外業界専門誌の記事情報の和文案内)を電子媒体にて送付します。
- ・年1回(通常は6月)総会にご参画いただき、ご要望を学会運営に反映できます。

4. 入会手続き

入会申込書が届き次第、入会月の学会誌、定款、会費納入案内書をご送付申し上げますので会費の納入をお願いします。

5. 会員の会費は次の通りです。入会金は不要です。会費は非課税扱いとなります。

個人正会員：会費(年額) 9,600 円

学生会員：会費(年額) 3,600 円

維持会員：会費(年額) 210,000 円

賛助会員：会費(年額) 70,000 円

6. 購買法人会員(学会誌の年間購読法人会員) 30,000 円(消費税込み)。